

宮城県感染症発生動向調査情報

令和02年06月18日発行

2020.6.8 ~ 2020.6.14 - 第24週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第21週	第22週	第23週	第24週
水痘			1 0.20				1 0.20		2 0.03	399				
流行性耳下腺炎		1 0.10						2 0.07	3 0.05	58				
感染性胃腸炎	8 2.00	9 0.90	11 2.20	6 3.00	5 1.67	4 0.80		29 1.07	72 1.24	4,013	○	○	○	◎
手足口病						1 0.20		2 0.07	3 0.05	270				
伝染性紅斑						1 0.20			1 0.02	152				
突発性発しん	4 1.00	9 0.90	6 1.20	1 0.50	2 0.67	7 1.40	2 1.00	23 0.85	54 0.93	548	○	○	○	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	11				
インフルエンザ									0 0.00	7,747				
咽頭結膜熱	1 0.25	1 0.10		1 0.50					3 0.05	322				
流行性角結膜炎									0 0.00	40				
急性出血性結膜炎									0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 2.25	5 0.50		1 0.50	1 0.33	10 2.00		10 0.37	36 0.62	3,129	○	レ	○	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				4 4.00			2 2.00		6 0.50	142				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症									0 0.00	400				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	2				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1												
	川崎病													
	不明発しん症								3					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

仙南管内 女性1名
石巻管内 男性1名
大崎管内 男性1名, 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 女性2名
大崎管内 女性1名
栗原管内 男性1名
気仙沼管内 男性1名
仙台管内 男性1名, 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O121)

仙台管内 男性1名

4類感染症: レジオネラ症

気仙沼管内 男性1名
仙台管内 男性1名

5類感染症: ウイルス性肝炎(B型)

塩釜管内 男性1名(第23週)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 女性1名(Enterobacter cloacae)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症
栗原管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙南管内 男性1名
仙台管内 男児1名*
梅毒
塩釜管内 女性1名(第23週)
仙台管内 男性1名
百日咳
塩釜管内 男児2名*(第23週)
石巻管内 男性1名

*男児は6才未満

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
検出情報はありません。

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第21週採取分 (5.18~5.24)	第22週採取分 (5.25~5.31)	第23週採取分 (6.1~6.7)
アデノウイルス	1件	0件	0件

4. 今週のコメント

【レジオネラ症】

先週4例、今週2例の報告があり、2020年の県内患者報告数は16例になっています。レジオネラ属菌は土壌や環境水中に生育する菌で、エアロゾルが発生する環境(冷却塔、噴水、ジャグジー等)や循環水を利用した風呂などが、感染原因になりやすいと考えられています。50歳代以上に発症者が多く、高齢者は特に注意が必要です。免疫力を落とさないよう日頃から体調管理に努めるとともに、肺炎またはインフルエンザ様の症状が長引く場合は、必ず医療機関を受診してください。

【新型コロナウイルス感染症】

厚生労働省では、国内の抗体保有状況の把握のため、東京都、大阪府、宮城県の3都府県について、それぞれ一般住民を対象に無作為抽出し、6月第一週に血液検査を実施し、その結果を6月16日に公表しました。それによると、各自治体の抗体保有率は、東京都0.10%、大阪府0.17%、宮城県は0.03%で、累積感染者数と比較すると多いものの、大半の人が抗体を保有していないという結果でした。次なる波へ備えて、人と人の距離の確保、手洗いなどの手指衛生、マスクの着用、3密(密閉・密集・密接)を避けるなどの基本的な感染対策を継続する必要があります。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

